



令和元年7月22日
海上保安庁

日露海上警備機関長官級会合の開催について（結果）

7月18日（木）、ロシア連邦（モスクワ）において、岩並秀一 海上保安庁長官とクリショフ・ヴラジーミル ロシア連邦保安庁国境警備局長官との間による「日露海上警備機関長官級会合」が開催されました。

1. 日時・場所

令和元年7月18日（木） ロシア連邦・モスクワ



2. 参加者

日本側： 岩並 秀一 海上保安庁長官 ほか

ロシア側： クリショフ・ヴラジーミル ロシア連邦保安庁国境警備局長官 ほか

3. 結果概要

（1）覚書に基づく両機関間の連携・協力関係

継続的な長官級会合及び合同訓練等を通じて、両機関の良好な連携・協力関係が形成され、両国間の海域の秩序が維持されてきたことを評価。引き続き、両機関間の連携・協力関係を維持していくことで一致しました。

（2）教育機関間の交流

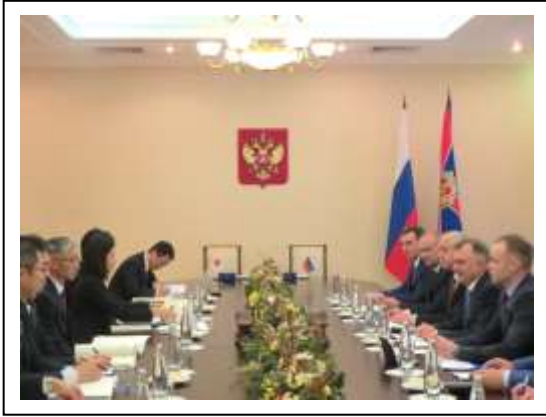
昨年12月の長官級会合で、両機関の連携・協力関係強化の具体的方策として、クリショフ長官から提案のあった教育機関間の交流について、本年、海上保安大学校とロシア沿岸警備士官学校との間において相互訪問が実施されたことを高く評価しました。この分野における将来的な協力の見通しについては、事務レベルで検討することで一致しました。

（3）多国間の枠組み

北太平洋海上保安フォーラム（NPCGF）及び世界海上保安機関長官級会合（CGGS）における両機関の役割を評価。引き続き、両機関間のみならず多国間の枠組みにおいても連携・協力していくことで一致しました。

（4）次回会合の実施

次回の長官級会合は、日本で開催することで一致しました。



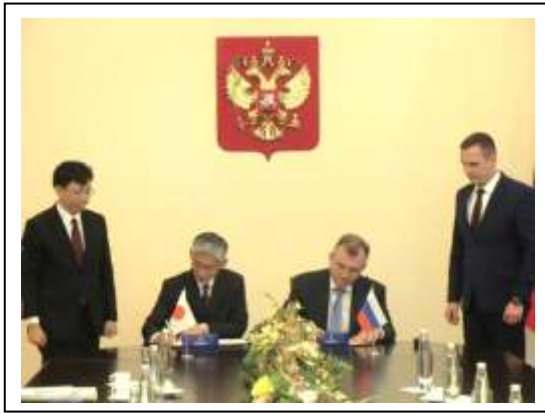
会合の状況



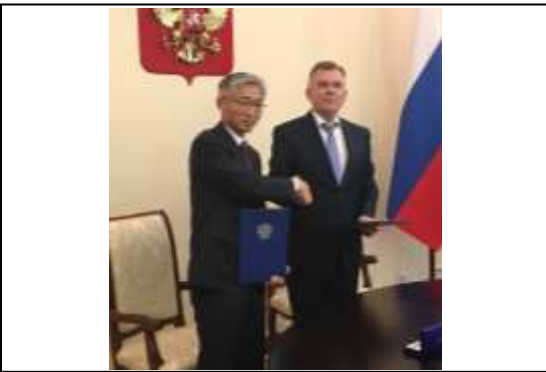
日本側代表团



ロシア側代表团



議事録の署名



岩並長官とクリショフ長官